

月刊

# 社協だより

平成30年  
12月号



発行：狩留家地区社会福祉協議会 編集：広報部  
広島市安佐北区狩留家町3144番地 TEL：844-0826

## 平成三十年を振り返る 災害ボランティアの方々に感謝

今年一年間を振り返って見ますと、一月、新春文化講演会で「終活」の話、二月、「広島藩から見た幕末」穂高健一氏の講演、三月、待ちに待った「中須賀橋開通祝賀会」、子ども達が伸び伸びと自然の中で遊ぶ「春のプレーパーク」。四月、「川辺の花壇と駅前花壇が増える」。五月、「健康ウォーキング教室」計三日。六月、高齢者の「日帰りバス遠足」。七月、「狩留家なす収穫祭」そして予期せぬ「西日本豪雨災害」湯坂川、鳴川が氾濫し、下西も浸水し、狩留家のあちこちに大きな被害。狩留家地区社協では、「災害ボランティアセンター」を立上げ町内の様々な被害に対応しました。八月、ドローンを飛ばして被害状況の調査。九月、「敬老祝賀会」。十月、かこがわ子どもフェスタにおける「高齢者疑似体験」。十一月、「資源ごみ大幅値上げ」、「芋煮会」、このような一年でした。

その中で強く印象に残った事は、災害復帰のボランティアに来られた方々が、過酷な労働をされてきたことになって集会所に戻って来られたにも関わらず「本日は有難うございました。明日も宜しくお願います」とご挨拶されてお帰りになられた方が何人もおられました。又、鳴川踏切が石で遮断され、水が民家や駅舎に

流れ込んで困っている時、小河原の平野さんがボランティアでユンボを動かして四時間位かけて応急処置をして下さり、近所の方々もJRも助かりました。狩留家の女子中学生で十日以上もボランティアに参加して頂いた方もおられました。各々頭が下がる思いでした。ボランティアの方々の清々しい心に感謝の念でいっぱいです。  
(会長記)

### ぬくぬく会・サロン交流会開催 四十八名が園児らと安らぎの時を過ごす

十二月六日(木)狩留家集会所で九時四十五分から十三時三十分四十八名の出席で「ぬくぬく会・サロン交流会」が開催されました。雨の一日でしたが、保育園の園児さん(年中)すみれ組七名、(年中)ひまわり組六名を迎えてのぬくぬく会。年中さんの歌、年長さんによる劇、ハーモニカンのあおぎりさんの演奏に合わせたの園児との合唱と、時間はあつという間にすぎま

した。園児たちの元気な声や、かわいい劇に眼を細め、にこやかにみなさん見ていました。そのあと小さな手で肩をたたいてもらい心から安らぐ時間でした。園児が、帰った後は、おしゃべりしながらの会食です。ワイワイ、ガヤガヤ、気の合った人との会話は、楽しくもあり、少しやかましくもあり、最後にビンゴゲームで盛り上がった一日でした。

### 理事会報告

平成三十年十二月十一日

- 一、狩留家保育園児としめ縄作り(十二月二十六日)
  - 二、新春文化講演会について(二月十二日)
  - 三、生活交通対策アンケートについて
- (七十五歳以上の方)

### わいわいガヤガヤ

## 芋煮会大成功!!

狩留家で、何かみんなが集うものをやったらどうかいのお、何をするんなあ、芋煮会はどうかいのお、芋はどうするんじや、なすの後の畑に植えたらどうかいのお・・・から始まった芋煮会プロジェクトは、狩留家集会所、男の料理サロンわっはっは共催でスタートしました。二月に芋植え、猛暑の草刈り、水やりなど、有志の協力で行った芋が育ちました。

さて次はどうする？釜は？レシピは？等、未経験の取組に、みんなが知恵を出し合いました。包括支援センターから健康教室、ゲーム、カフェ、

指マツサージの協力申し出があり、なんとか開催の運びとなりました。十一月二十四日、晴天。早朝より仕込んだ芋煮も美味しくでき上がり、さあ開会。だんだんお客さんが集まり、子供達の声も弾みます。お腹が膨らんだところで、紙芝居の始まり。湯坂サロンの手作りのさるかに、狩留家の歴史、いもころがし等、楽しいひと時でした。初の試み

### 愛の灯

より頂きました。ご昇りまう。田頂が。保付あり。久寄あ。

十一月資源ごみ売上 二万二千元